

平成29年度における自立相談支援事業の取組

項目	昨年度からの課題	今年度の取組	平成29年12月末
周知・啓発	<p>◎市役所の各部署に比べて関係機関からの相談が少ないので、より本制度の周知に努める必要がある。【H28年度課題①】</p> <p>◎子どもの6人に1人が貧困状態と言われているにもかかわらず、子どもの貧困に関する相談が少ないので、潜在的ニーズの把握を行う必要がある。【H28年度課題①】</p>	<p>◎関係機関向けの研修会を開催する。</p> <p>◎家庭児童相談室、母子父子自立支援員、学校等子どもに関わる関係機関への制度や、自立相談の役割を周知する。</p>	<p>◎昨年度に引き続き、市と関係機関の新任職員向けの研修会を開催した。</p> <p>◎ケアマネジャー友の会に研修会の開催を依頼し、H30年3月実施予定。</p> <p>◎相談ケースの世帯の中に学齢期の子どもがいらないか把握して、学業に対する相談は生活福祉資金等へのつなぎを配慮している。</p> <p>◎社協事業と連携し、「地域食堂」を実施できるようにコーディネートしている。</p> <p>◎総務部債権管理課と協働し、連名で総合相談のチラシを催告書に同封した。</p> <p>◎総合相談窓口横で、H29年10月から毎月フードドライブを行うようになった。</p>
総合相談連絡会	<p>◎各機関の出席者が固定していないため、個別事例の課題を地域の課題とし、共有し検討するに至っていない。【H28年度課題①】</p>	<p>◎昨年度から実施している、機関紹介を継続して開催する。</p> <p>◎事例検討を行うことで、地域課題の抽出を行う。</p>	<p>◎機関紹介を継続して開催しており、現時点で、H30年3月分までの機関紹介が決まっている。</p>
居場所	<p>◎多様な「居場所」づくりのために「まごのて」以外の活用を行う必要がある。【H28年度課題③】</p>	<p>◎居場所づくり部会において、作成した一覧表を活用、居場所確保に努める。</p> <p>◎社会参加の場として、地域行事等への参加ができるように検討していく。</p>	<p>◎グループセッション「ミント」の情報提供を行った。</p> <p>◎社会参加の場としての地域行事への参加を促すも、マッチングが難しい状況ではあるが、継続して働きかけている。</p>
就労支援	<p>◎交通費や交通手段が無い、心理的に壁がある、などの理由でハローワーク利用につながらない対象者に就労支援の方策を検討する必要がある。【H28年度課題②】</p>	<p>◎自立相談窓口で求人情報が得られるよう、求人情報誌を収集し閲覧できるようにする。</p> <p>◎阪神南障がい者就業・生活支援センターが実施する事業を活用し、就労支援を行う。</p>	<p>◎求人情報誌のファイルを作成し、自立相談開所中は自由に閲覧できるよう福祉センター事務室と相談中。</p> <p>◎関係機関の面接練習会に参加した。</p> <p>◎就労準備支援事業につないだり、阪神南障がい者就業・生活支援センターとともに面接を行うケースが増えた。</p>

項目	昨年度からの課題	今年度の取組	平成29年12月末
生活物品の確保	◎冷蔵庫や、調理器具等の生活物品が不足しているが、購入するための費用が無く、生活環境の改善が難しいケースがある。【H28年度課題①②】	◎地域住民や、関係機関に生活物品の寄付を依頼することにより、物品の確保をするとともに、制度の周知につながることを期待する。	◎社協事業のゆずりあいネットワークを活用し、掃除機やテーブル、布団等の提供を受けることができた。 ◎市内事業所や地域発信型ネットワークでの会議で事業内容の周知を図り、提供者が増えるように取り組んだ。
その他	◎支援が続かず、中断するケースについて、取り扱う基準がない。	◎最後に支援をしてから2年目の年度中に連絡等をして反応が無い場合、一旦終了する。	◎昨年度に支援がなく中断しているケースは、新年度中に一旦終了することとした。 ◎生活再建型の滞納整理をめざし、総務部債権管理課や市民生活部保険課とモデルケースを用い、連携を図っている。